



平成20年4月2日

各 位

会社名 ケイティケイ株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊藤 主計
(JASDAQ・コード3035)
問合せ先
役職・氏名 取締役管理部長 木村 裕史
電話 052-931-1881

平成20年5月期通期（連結・個別）業績予想の修正 に関するお知らせ

平成20年5月期(平成19年5月21日～平成20年5月20日)の業績予想については、平成20年1月7日付で当社「平成20年5月期中間決算短信」にて発表いたしました平成20年5月期通期（連結・個別）業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成20年5月期 業績予想の修正（平成19年5月21日～平成20年5月20日）

(1) 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	10,687	204	195	101
今回修正(B)	9,910	106	100	52
増減額(B-A)	△777	△98	△95	△48
増減率	△7.3%	△48.1%	△48.7%	△47.7%
(ご参考)前年実績	10,487	151	144	75

(2) 個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	10,700	167	180	93
今回修正(B)	9,900	106	121	69
増減額(B-A)	△800	△61	△58	△23
増減率	△7.5%	△36.5%	△32.4%	△25.4%
(ご参考)前年実績	10,336	116	136	73

2. 平成 20 年 5 月期 業績予想修正の理由

(1) 連結業績予想の修正理由

売上高においては、リサイクルトナーカートリッジの売上高が激しい競合状況の中、販売単価の下落並びにカラートナーカートリッジの拡販進捗が低迷していることで、全体的なりサイクルトナーカートリッジの拡販計画に遅れが生じ、約 300 百万円の減少を見込んでおります。

また、IT 商品の売上高は、各種メールセキュリティサービスからなる ASP 版総合サービス「@Securemail」7 商品を平成 20 年 1 月より順次リリースする予定でありましたが、その内 5 商品において商品化開発の遅れが生じたため、約 80 百万円の減少を見込んでおります。

くわえて、輸入純正トナーカートリッジを含む新品トナーカートリッジの売上高は、偽造品の国内流入リスクの高まりから、予想を上回る入手難が続いており、約 400 百万円の減少を見込んでおります。

以上の理由から、前回発表予想に対し売上高は 7.3%減少の 9,910 百万円となる見通しです。

営業利益においては、売上高が前回発表予想を下回ることと、連結子会社の株式会社アイオーテクノにおいて、リサイクルトナーカートリッジの内製増産化のために設備及び要員の増強を行ってまいりましたが、内製移管の遅れが生じたこと等により前回発表予想に対し 48.1%減少の 106 百万円となる見通しです。

これら上記の理由により、経常利益及び当期純利益は前回発表予想を下回り、経常利益は 48.7%減少の 100 百万円、当期純利益は 47.7%減少の 52 百万円となる見通しです。

(2) 個別業績予想の修正理由

連結業績と同様に、売上高においては、リサイクルトナーカートリッジの売上高が激しい競合状況の中、販売単価の下落並びにカラートナーカートリッジの拡販進捗が低迷していることで、全体的なりサイクルトナーカートリッジの拡販計画に遅れが生じ、約 300 百万円の減少を見込んでおります。

また、IT 商品の売上高は、各種メールセキュリティサービスからなる ASP 版総合サービス「@Securemail」7 商品を平成 20 年 1 月より順次リリースする予定でありましたが、その内 5 商品において商品化開発の遅れが生じたため、約 80 百万円の減少を見込んでおります。

くわえて、輸入純正トナーカートリッジを含む新品トナーカートリッジの売上高は、偽造品の国内流入リスクの高まりから、予想を上回る入手難が続いており、約 400 百万円の減少を見込んでおります。

以上の理由から、前回発表予想に対し売上高は 7.5%減少の 9,900 百万円となる見通しです。

営業利益においては、売上高が前回発表予想を下回ることから前回発表予想に対し 36.5%減少の 106 百万円となる見通しです。

これら上記の理由により、経常利益及び当期純利益は前回発表予想を下回り、経常利益は 32.4%減少の 121 百万円、当期純利益は 25.4%減少の 69 百万円となる見通しです。

3. 平成 20 年 5 月期 配当予想について

前回発表予想に変更はありません。

(注) 前述の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上